2025年版 〔 釣行回数：47回　平均釣果：65.4尾　総釣果：3,075尾　1日最高釣果：164尾　最長寸：24cm 〕

No.001
釣行月日：2025年06月01日(日) 06:20～16:30
天気：曇後晴，　気温：？，　水温：16℃
河川：大塔川・四村川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：55尾，　サイズ：14cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
約８か月ぶりの釣行。還暦の年となる。 何処に入るか迷うところだったが，オトリ店裏の請川には人は居なかったのと色もそんなに悪くなさそうだったので，入ってみる。 浅場のフラットな流れで流速はそれなりにある。 掛ればそれなりに楽しめることろである。期待していたけど，一向に掛かる気配が無い。今年はアユがあまり遡上してしない？ので は...と色々考えながら歩き回った。これ以上粘ってもオトリが弱ってきているので場所移動しようと思った。
上流の大塔川でやってみて駄目なら赤木川か？ 大塔の流れはそんなに悪くなそう。駆け上がりの流速のある所で引いてたら直ぐに掛かる。奇麗な黄色い16cm程のアユだった。 掛かることがわかったので周辺で22尾程掛かった。
反対側の流れでも掛かり30尾程に。
オトリが確保できたので朝一駄目だった請川に戻り，再挑戦するもやはり掛からない。
最後，四村川へ歩きポイントポイントを探りながらやって予想外に掛かった。
もう腰が痛くなり歩くのが精一杯，オトリ缶担ぐのも一苦労。 横浜から駆け付けてくれた方と夕方料理屋で本日掛けたアユを焼いて頂いた。やはり釣りたての若鮎の塩焼きは身が柔らかく，ほんのり甘苦い味が最高である。周りは外国人ばかりには驚いた。 今年の解禁日は楽しく過ごせた。 筋肉痛の体で明日は釣りが出来るだろうか？
動画：https://youtu.be/AgyuUbZ9PWo

No.002
釣行月日：2025年06月02日(月) 08:20～16:00
天気：晴後曇，　気温：？，　水温：14℃
河川：赤木川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：44尾，　サイズ：14cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
解禁2日め。 筋肉痛であまり歩かなくて済むポイントを目指し赤木川へ。
平日とあってポイントには誰ひとり居なかった。 昨日は相当な賑わいだったらしい。
厳しいと思い竿抜けしそうな所を狙ってやってみるも最初は掛からず。
色々とポイントを変え探ってみる。オトリの泳ぎに少しばかりアクションをかけると追ってきた。
オトリが変わると掛かり出した。 やはり広範囲に泳がせるほうが良かったみたいだった。
昼頃までに30尾程になり，上流の場所が気になっていたので移動してみる。
完全なトロ場で川底が丸見え。その中に2尾程明らかに付きアユが見えたのでその場所へ誘導すると掛かった。
さらに上流へと移動しながらトロ場で見釣りをしてみた。
今の時期に追いがありそれなりに楽しめた。黄色い良いサイズで満足。
16時頃にポツポツ雨粒が落ちてきたので止めることにした。
今年は期待しても良いのか？梅雨明け頃からもっと楽しめることを期待したい。 動画：https://youtu.be/qrzaNX45vxo

No.003
釣行月日：2025年06月07日(土) 06:30～17:00
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：17℃
河川：四村川・熊野川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：36尾，　サイズ：12cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今回トシちゃんと合流でき四村川へ入る。 自分は上流へと釣り歩くアユの居るところに入ればそれなりに掛かる。
一度掛かると後が続かないので，ポイントを変えていくことになる。300mは歩いただろうか？
所々に小さい群れ鮎も見られこれから成長していくのだろう。
昼を回ったところひと通りやり切ったので，本流へ行ってみることにした。 苔は付いているのだが，支流の様にはいかずポイントが判らないまま時間が過ぎただけだった。石につまづきコケてしまい糸が切れてオトリ損失。
後半戦ポイント選び失敗で釣果伸びず。

No.004
釣行月日：2025年06月17日(火) 08:00～16:30
天気：曇後晴，　気温：？，　水温：17℃
河川：上桂川（京都府）
水況：約20cm高
釣果：11尾，　サイズ：12cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨
内容：
解禁日が雨で水位も高く厳しいため後日に釣行しようと考えていた。
解禁一週間前の試し釣りでは厳しいと予想され，合わせても水の引いた天気の良いときにしようと。
幸いにも平日の一週間は気温も上がり活性も良くなることを期待して火曜日に釣行を決めた。 いつもベストには日焼け止めが入っているはずが無い。今更バタバタしてもどうしようもないが，終了後の火照りが心配。
亀の甲橋上流から入るもまだ水が高くちょっと厳しいかも？
まぁ，のんびりやるしかないと比較的流れの緩い所で丁寧泳がせてみる。 ちょっと油断してた所に糸が下流に引っ張られているのに気付き慌てて対応しようとしたが間に合わずバレてしまった。
気を取り直し再度周辺を攻めてたら今度は掛かり獲り込めた。 その後2尾掛かったが周辺含め探っても掛からない。下に移動して1尾追加。橋の下で根掛りで1尾損失。結局ここでは3尾。 昼前にコキノ橋下に移動して掛からないのでさらに下に移動して岩盤と石が点在する所で3尾追加方は17cm前後で良かったものの後が続かず。
また元に戻ってやり4尾程バタバタと掛かるも小さく白い。海産か？ 合計10尾でやっとツ抜け。
下流はどうかと栃本橋下流でやったが1尾と追いが無い。 疲れて早めに納竿。
海産？が半分以上で小さいので本格的には7月後半からか？ 良く判らん！

No.005
釣行月日：2025年06月21日(土) 07:00～17:00
天気：曇後晴，　気温：？，　水温：20℃
河川：赤木川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：60尾，　サイズ：13cm～20cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
トシちゃんとオトリ店で合流でき赤木川へ。 今回は小和瀬からスタート。 橋の下の平瀬から始める。
まずは天然を数尾確保したいと思っていたけど，なかなか掛からず。 オトリが弱るまでに何とか掛かるも小さい。
次も掛かったが，腹掛りで泳いでくれない。 粘っても掛からないので橋の上流に移動。 ハメの残骸が残って糸が絡まないようにやりながら数尾天然を確保でき，ようやく広範囲にポイントを攻められるようになってきた。
少しずつ上流へポイントを変えてみる。 トロ場までやってきたが，川底の色や高低差の変化のある所を泳がせると良型が掛かる。その後同じようなポイントを移動しながら攻めると飽きない程度に掛かった。上流の和田川の合流点まで歩いたが掛かる傾向はトロ場が良かった。しかも良型。しかし中間にある瀬では掛かる気配がなかった。

No.006
釣行月日：2025年06月28日(土) 07:30～17:40
天気：，　気温：？，　水温：19℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：ほぼ平水
釣果：53尾，　サイズ：13cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.15
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今年初めての安曇川。 船橋から開始。オトリ1尾のみ，1尾500円から600円の値上がりとなっていた。
まずはオトリ確保のため泳がせやすい場所からやって数尾獲れたので，上流へと歩きながらポイントを探っていく。
良さそうな所はあまり追ってこない。 日が上がって水温も上昇してくると浅場が良くなる。
浅場の小石底でも追ってきた。 型は平均して15cm前後と揃っておりオトリの循環は比較的良好。
これから9月に向けて釣果も期待できそう。

No.007
釣行月日：2025年06月29日(日) 08:20～16:00
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：19℃
河川：上桂川（京都府）
水況：ほぼ平水
釣果：20尾，　サイズ：13cm～19cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
恒例の神吉地区の漁協の大会。 亀の甲橋周辺での釣りとなる。 解禁から厳しいので覚悟はしていたけど，掛かるアユは小さいか大きめのサイズに分かれる。最初のオトリを如何にして確保できるかによる。
瀬落ちの瀬脇の緩い所で小さい群れ鮎が5尾程掛かる。オトリには何とか使えるくらい。
下流へと移動しても同じポイントでは続かず苦戦。 ようやく黄色い18cm級が確保できた。 次もきて鼻カン通してオトリを放すと道糸がかなりたるんでくる。竿の節が落ちたかと確認すると天井糸が外れていた。修正して下流に走った糸を修正しようと引っ張たら石に擦れてプッツン！ 器量なオトリ損失。午前の部はお取込みの9尾。 昼食後，橋の下のトロ場でアユが見えだしたのことでやってみる。小石底でも群れ鮎なのかポツリポツリと掛かる。中にはデカいのもあった。 周辺をやって13尾。合計何とか20尾とまずまず。 少しはマシになってきた？

No.008
釣行月日：2025年06月30日(月) 12:30～18:00
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：24℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：　-----
釣果：31尾，　サイズ：13cm～19cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
病院の検診が午前中に終わったので，半日だけど天気も良かったので釣りに出かけることにした。
割高になってしまうけど安曇川へ。 今回は野尻へ。丁度河原に降りたところには車も人も居なかったのでまずは瀬落ちから。オトリ1尾のみのため慎重に。水温も上がっているので無理はできない。 程なくして目印が斜め下流へ走る。
良型なのだが顎下あたりに掛かり即死状態！ 再度やり直し。またもや掛かりが悪いが何とかオトリに使えそう。
どうも針が合わないのかバレや逆針外れが多発して数があまり伸びない。
途中で釣り人がやって来て上の瀬でポツリポツリ掛かっているようだ。
10尾程掛かった所で上流の小石底の浅場を探り入れ掛りは無いものの掛かる。しかし，型は小型。
色々とポイントを変えながらやって何とか30尾ちょい。 7月後半からもう少し広範囲に掛かることを期待したい。

No.009
釣行月日：2025年07月05日(土) 06:30～17:30
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：22℃
河川：熊野川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：69尾，　サイズ：12cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
解禁から1ヶ月が過ぎ，解禁日に掛からなかったポイントが気になり入ってみることにした。
これから着替えようかとしているときにトシちゃんが来られた。
何回か高水になって若干川底が変化しているようだった。
まずは同じ所から開始。トシちゃんはさらに下流の瀬落ちの開き。 最初はオトリに使えないサイズが掛かる。 次が小さいが何とかオトリには使える。周辺で数尾掛かりオトリ確保は十分できた。しかし，良いときのペースではない。まだ時期が早いのかもしれない。でも確実に良くなる傾向がみられた。
次は上流の瀬肩。ここも掛からなかったが今回はどうだろう？ 元気なオトリを放すと掛かってくれた。これは行けそうと，周辺を探ってみると下より数はでた。午前中40尾程になっていた。
一旦，オトリ缶に移して場所をさらに上流へ移動。
瀬肩の鏡に追気がありそうなのでとりあえずやってみると直ぐに掛かった。少し粘って周辺を攻めて数を稼げた。
夕方また戻ってやるも70尾まであと1尾とやってみたが駄目だった。 ちょっと悔しい。
動画：https://youtu.be/oKjDZOvNrtY

No.010
釣行月日：2025年07月06日(日) 07:40～17:40
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：熊野川・赤木川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：40尾，　サイズ：13cm～21cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90，銀影競技メガトルク早瀬抜90W
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
本流の確認を兼ねて敷屋に行ってみる。 いつもの平瀬から始めてみる。水が出る度に川相が変わっている。
一部小石底で埋まっている。 坊主ハゼと半々の確率で平均小型。オトリの泳ぎから追われそうな雰囲気が無い。歩いてポイントを探ってみるもまだ本格的な追いは感じられない。10時頃に諦め，赤木川へ移動。
ちょっと早めの昼食をとり11時頃から釣り開始。 前回良い思いをしたトロ場へ。
最初はオトリの泳ぎも良くなく掛かるまでにちょっと時間がかかるも野アユに替わると回転が良くなった。
前よりも掛かるペースは遅いものの良型が掛かった。
仕掛が飛んだり，受け損ないやバラシもありいまいち数が伸びず。 41尾めが来たと思ったら切れてしまい39尾となり，40尾になるまで頑張って掛かるまでに結構な時間がかかって何とか40尾までとなった。 暑いので場所移動も大変。
オトリも人間も弱っていしまう。 動画：https://youtu.be/8Gw2OdPsqjw

No.011
釣行月日：2025年07月12日(土) 06:30～18:00
天気：曇，　気温：？，　水温：24℃
河川：熊野川・大塔川・四村川（和歌山県）
水況：若干減水
釣果：66尾，　サイズ：12cm～21cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨
内容：
藤吉さんとトシちゃんが来られるそうで歩いて広範囲に移動できる請川で合流。いつもの平瀬で開始。
先週と同様いきなり小型でオトリにならずウナギのエサとして確保。
3尾めにようやくオトリサイズが掛かり掛かるペースが良くなる。 上下ポイントを変えながらやって午前中37尾。
オトリ缶にアユを移し再開。 上流の大塔川や四村川でやってみた。
一ヶ所で数尾掛かったら後が続かず転々とポイントを移動しながら掛けていく戦法。
一日中曇り空の為が浅場ではあまり追いが良く無い様であった。

No.012
釣行月日：2025年07月18日(金) 06:20～17:00
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：20℃
河川：神通川（富山県）
水況：若干高水
釣果：35尾，　サイズ：12cm～18cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.15，ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
昨年の三桁釣りが忘れられなくて三連休を利用して今年も期待して出かける。適当な宿が見つからず前日から釣行することにした。 宿泊費が高くなって手が出ない。車中泊はしんどいし，何とか2泊できることになったので今日と明日は神通川で帰り足羽川の予定。 まずは空港前で昨年と同じポイントから始める。
水位はちょっと高く若干濁りがあり逆光の為か川底石が確認し辛い。 風が強くてちょっと心配。
養殖オトリがなかなか野鮎に変わらない。そして，途中で切れて損失。 あと1尾しかなくどうなるか...
無理が出来ないのでナイロンの0.175に変更する。 オトリが元気になった為かやっと1尾が掛かった。
これで何とか続けばひと安心。しかし掛かるアユが小さくオトリにならないのもあり苦戦。
手前の浅瀬でやるもどうも掛かるポイントが見えてこない。 上下移動しても散発で数は伸びない。
強風との戦いと期待以下の釣果に残念な思いで疲れがどっと出てしまった。 明日はどこでやろう？

No.013
釣行月日：2025年07月19日(土) 06:30～18:00
天気：晴後曇，　気温：？，　水温：20℃
河川：神通川（富山県）
水況：若干高水
釣果：125尾，　サイズ：11cm～20cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
オトリ店のHPで釣果を確認すると95尾の人が居たとのこと。 場所の差なのか？
昨年の145尾ポイントに行ってみることにする。 ちょっとまだ水位が高い様だ。風もまだ強い。 左岸側の下流では複数人が網をやっているので浅場は厳しいかもしれないので，右岸に渡ろうとしたが川底の石がわかり難いのもあり腰ぐらいまで行くと先が判らないので流されたら下流の瀬に流されそうなので，ちょっと下がり立ちこんだ所から開始。
掛かるアユは昨日よりもひとまわり大きい。数も伸びそう。
瀬肩のちょっと上のポイントで20数尾掛けた所で，対岸に渡れそうなので思い切って渡ってみた。
右岸側にはかなり上流の橋の下の瀬落ちの開き？でやってる人のみの様。
岸寄りを歩きながら食み痕を確認すると結構奇麗に磨けている。 泳がせてみると掛かることが判り30尾になった所で一旦，オトリ缶の所まで戻りオトリを移し昼頃からの釣りを準備をする。
ちょっと休憩して動画撮影の準備をし右岸側に移動。 サラ場だったのか入れ掛りが続き夕方まで95尾追加できた。
オトリ缶まで戻らずやったため，7.5Lの曳舟満タン寿司詰め状態。
昨日の不調から絶好調に，やはりポイント選定だったのかもしれない。
8月以降さらに広範囲に掛かることが期待される。楽しみ！ 動画：https://youtu.be/76vybUGkUEU

No.014
釣行月日：2025年07月20日(日) 07:40～17:00
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：足羽川（福井県）
水況：ほぼ平水
釣果：53尾，　サイズ：15cm～20cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨
内容：
帰り道の途中でもある足羽川に入ってみることにした。 作助オトリ店の下に入らせていただく。
このポイントは初めてなので何処をやったら良いのかポイント的に悩む。 右岸側の流れから始める。思った以上に掛からずどうしたものかとポイントを探る。食み痕はあちらこちらじゅうにあるのに...
ペースはかなり遅いものの何とか掛かってくれた。 大石回りをやるもここぞという所でも空振り。
浅場のチャラ瀬では？とやっても数は伸びず。 時間？なのか水温が上がってくると良くなるのかもしれない。 では反対に左岸側の小石底の方が良いのか？とやってみると掛かる。周辺をやってみると循環が良くなってきて入れポン状態の時もあった。 昼くらいで20尾程になった。橋の周辺での小石底と大石の点在する所でも元気なオトリが行けば掛かるといった感じで良い循環になった。 小石底狙いと橋の上流でも掛かれば当たりも強烈で型も良い。
5時までやって50尾強とまずまずだった。 パターンが判ればもう少し数を伸ばせるかもしれない。
動画：https://youtu.be/nCBkLWzCHMQ

No.015
釣行月日：2025年07月26日(土) 07:20～17:20
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：22℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：若干減水
釣果：77尾，　サイズ：14cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今年初めて古川に入る。 上流のチャラ瀬がちょっと埋まり少しの棚が無くなった感じになっていた。
周辺を探っても掛からなかった。 掛かったのは両岸側が殆ど。
昼頃は水温が上がり曳舟が完全に浸かるようにしないと弱るか死んでしまう。
午後は瀬落ちの際と駆け上がりの小石底の浅場が良かった。
掛かる場所が変わってきており釣り方も変えていかないと中々掛かってくれない。

No.016
釣行月日：2025年07月27日(日) 07:30～17:20
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：若干減水
釣果：67尾，　サイズ：15cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今回は野尻に行ってみる。 最初2尾水中バレで野アユに変えられない。 上流へ移動し平瀬でようやくオトリが替わる。
その後周辺で4尾程追加できた。それにしても今日は出だしが非常に悪い。
浅場をやってみるも追う気配が無い。石の色は良いのに... 時間帯か？11時頃を回ってようやく小石底の浅場も掛かるようになってきた。意外と18cm位のが掛かる。その後浅場中心でやって3時ごろまで追いも良くなり良いペースで掛かり引きと重量感を楽しめた。 浅場なので曳舟を沈める場所に苦労する。風も強くやりにくい面もあった。
動画：https://youtu.be/Q8TCglpOsjQ

No.017
釣行月日：2025年08月02日(土) 07:00～17:30
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：22℃
河川：神通川（富山県）
水況：若干減水
釣果：106尾，　サイズ：10cm～19cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK，銀影競技メガトルク早瀬抜90W
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
現地集合でトシちゃん，藤吉さんを待ちながら先に入川。 まずは瀬肩から始める。
最初の1尾が掛かるのに思った以上に時間がかかるも10尾程。 逆光で目印が見えにくいこともあり右岸に渡る。
前回程の掛かるペースは良くないものの掛かる。少しずつ上流へ移動しながらやってみる。
9時過ぎにトシちゃんらしき車が見えたので近くまで下って手を振る。 相手も判ったらしい。
釣りを再開し，昼頃に藤吉さんも到着したらしい。
この時点で48尾。一旦竿をたたみ車まで戻り確保したオトリを進呈。 コーヒータイムをして釣り再開。
日が差し水温が上がってくると掛かるペースもあがる。 夕方まで何とか明かり続け今回も三桁釣果となった。
動画：https://youtu.be/SpViGZhqzWI

No.018
釣行月日：2025年08月03日(日) 07:00～17:00
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：21℃
河川：神通川（富山県）
水況：若干減水
釣果：71尾，　サイズ：10cm～18cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今日は一人単独釣行となる。 ポイント開拓のため初めてのポイントに入る。 チャラ瀬の場所に入る。
最初の数尾は掛かるも小さすぎてオトリの循環が悪い。
歩きながら探す。中州を回りながらぐるりと数百メートルを回ってみた。 良さそうな場所も曇りで逆光で掛かるペースが非常に遅いので見切り結局元の場所に戻ったときは11時を回っていた。この時点で14尾情けない釣果。
昨日の三桁ポイントへ。 殆どの釣り人が昨日の方だと思われる。釣り人の立つ位置もほぼ同じ様だった。
自分もトロへ行くも流石に掛かるも昨日程ではない。 手前のポイントにはどうしたことかあまりアユが見えない。
天気が悪いためか？日によってアユの行動が変わるのか？
夕方殆どの釣り人が居なくなり，上流の釣り人が立ちこんでいた足元辺りで入れ掛りがあり70尾強と挽回できた。
昼頃から57尾掛かったことになる。午前のポイントで失敗したのが残念。 ポイントの見切りをもっと迅速にせねば...

No.019
釣行月日：2025年08月08日(金) 11:00～18:00
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：24℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：若干減水
釣果：53尾，　サイズ：15cm～20cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨
内容：
役所に行き用事を済ませてから釣りに出かける。 釣りを開始したのは11時頃と遅め。
野尻に行ってみるとゲートが閉まっており釣り人が居ない状態だった。
折口の瀬落ちの開きで開始，何処からか来たのか上流に釣り人が現れる。 恐らく出会いから下ってきたのだろう。
養殖オトリ1尾のみなので野アユに替わるまで辛抱。
意外と直ぐに替わり次も掛かる。開始30分で10尾と調子良くスタート。 型も申し分ない。2時間で30尾と上出来。
次は上流の浅場でやってみたものの前回程掛からず。 夕方6時頃までやって50尾強とまずまず。

No.020
釣行月日：2025年08月09日(土) 07:10～17:40
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：21℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：若干減水
釣果：67尾，　サイズ：15cm～21cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
全国的に雨の予報があり近場での釣行にした。 今回は古川へ入ってみる。 それにしても昨日の雨の後，気温が20度で終盤の釣りかと思うくらい風もあり寒かった。急な冷え込みのためか、いつものポイントから始めるも石の色も良くなくオトリの泳ぎも良くなく掛かる気配が無い。 下の瀬落ちの分流に移動しなんとかオトリを替えられた。
周辺で10尾程掛かり下流へ移動しながらやるも左岸の流れは水が低すぎて釣りには厳しい様。 右岸の流れに移動し浅場でやって直ぐ掛かる。その後良く掛かるが糸切れやバラシで数が伸びず。28尾程になって上流に戻り瀬落ちの深場で駄目なら場所移動しようと思っていた。 しかし，入れ掛りが続き35尾過ぎたあたりから場所移動は中止。
移動で恐らくアユが弱るか死んでしまうだろう。 周辺でペースは悪くなるが掛かる。
夕方までやって最後堰堤下辺りが空いたので行ってみる。 周辺で良く掛かり午前中の不調から脱出できて良かった。
掛かり場所も悪かったせいか十数尾死んでいた。 掛かったアユの殆どが良型（18cm～20cm）だった。

No.021
釣行月日：2025年08月13日(水) 07:30～17:00
天気：晴後曇，　気温：？，　水温：19℃
河川：赤木川（和歌山県）
水況：若干高水
釣果：44尾，　サイズ：16cm～21cm
仕掛（竿）：銀影競技メガトルク早瀬抜90W
仕掛（糸）：ナイロン0.175，ナイロン0.2
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
家を出るときに水位を確認して出かける。 音無川と本流の合流から下流は濁りがある。
さらに請川では支流側の水位が高くなっているし少し濁りがあるようだ。
どうやら明け方3時頃にきつい雨が降ったらしい。 赤木川では水位に上昇は見られず下がってきている。
大社辺りに入ろうかと思ったけど赤木川に行くことにした。 小口まで来たが流心の小石は苔が飛んでいる。
岸寄りの大石周辺で掛かる。 瀬のきつい所でも掛かった。 上流三つの橋まで歩いてやってみた。 結構疲れた。

No.022
釣行月日：2025年08月14日(木) 07:20～17:30
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：24℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：48尾，　サイズ：10cm～20cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
前日，殿さんの所の宿がとれたので熊野から有田川に移動した。 年券を購入しブドウ園周辺に入る。
浅場では鮎が見える。期待して開始。 養殖オトリの泳ぎがいまいちなので，無理をせず気長に泳がせる。
やっと掛かるも首？周辺に掛かりやばいと思ったけど何とか使えた。
数尾掛かって後が続かず周辺を探ってもどうも追い気が無い様だ。 黄色い縄張り鮎を見つけてはそれを掛ける。
見てて数は稼げないと思い，1時を回っていたか？ボダイへ移動してみる。 しかし車が2第止まっている。
じゃ～ガマの瀬へ... また車が止まっている。 引き返し前川橋に。 ここは釣り人が居なかったので入ってみる。
オトリが死んでいるかもと不安だったが1尾色が変わっていたぐらいで済んだ。やれやれ。 折口でやっていると釣り人が2人が入ってきた。1人は橋の下，もう1人は修理川出合の上のようだ。その後，釣り人でないカップルが来て水遊び。
橋の上で数尾掛けて後が続かないので思い切って修理川出合の下の開きの石の色が良かったので，やってみるとオトリを放し上流へ泳いでいく途中に掛かる。 その後周辺で入れ掛り。どんぶりあったけど何とか数を稼げた。

No.023
釣行月日：2025年08月15日(金) 07:30～17:15
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：20℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：若干高水
釣果：61尾，　サイズ：15cm～19cm
仕掛（竿）：銀影競技メガトルク早瀬抜90W
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨
内容：
遠出の釣行後，近場の安曇川へ行ってみる。
高水後なので今まで良かった所ではまだ苔がなく釣りが成立しないので，残り垢狙いとなる。
古川で先行者が居たのでそこでは無理，上流の瀬肩の岸寄りで何とか数尾確保できた。
いつもはチャラチャラで竿を出せそうもなかった所が，今回は水量があるのでやってみることにした。
思った以上に掛かりしかも良型。 午前中まで35尾程掛かる。 オトリ缶にアユを入れて，下流へ。
瀬落ちの開きでは苔が飛んで駄目そう。 瀬肩のちょっと上流の分流の浅場の石の色が良いのでやってみると掛かる。周辺で泳がせて左岸の大石が点在する所も良く掛かった。 今回は運が良かったのか？

No.024
釣行月日：2025年08月16日(土) 07:00～17:30
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：23℃
河川：熊野川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：50尾，　サイズ：10cm～18cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.15，ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今回はできるだけ本流をやってみたいと思ってまずは水位の安定している本宮大社周辺とした。
トシちゃんも同行された。 川相はあまり変わっていないようだった。 まずは足元から泳はせて待つことちょっと時間はかかったけど…当たりがはっきりせずオトリの泳ぐ筋を替えようと思ったら掛かっていた。
特にこの熊野はその様な掛かり方が多いように感じる。
周辺で数尾掛かるも後が続かずまたビリアユが混じるのでオトリの循環も良くない。 対岸に渡り川底の石の色や変化と流速を考えながらやってみる。思う所では掛かるけど連発が無い。連発の場所を探しながらポイントを変えていく。
結局昼までに22尾。 丁度昼頃に雲域が悪くなり一服しようと竿を畳む。
車に戻った頃から雨が降り出し段々ときつくなった。 ずぶ濡れにならなくて済んだ。 1時頃には雨が止み再開。
右岸の平瀬で入れ掛り5連発。バラシと坊主ハゼの連発でサイクルが乱れた。
周辺を丹念に探って何とか50尾まで掛けることが出来た。
まだヘチでは掛からない様だった。先に坊主ハゼが掛かってしまう。

No.025
釣行月日：2025年08月17日(日) 08:00～16:00
天気：晴後曇，　気温：？，　水温：24℃
河川：熊野川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：43尾，　サイズ：15cm～18cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.15，ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
本流2日目は敷屋周辺と決めて行ってみることに。
いきなり出発から作ってくれた弁当を忘れたのに気付き宿まで引き返す。 敷屋到着は8時前だったけど先行者居らず。
仕掛の準備をしてたら1人来られた。 殆ど苔は付いており問題は無さそう。
さー始めようとしたらサングラスのレンズが外れて落ちる。
何故かネジが抜け落ちている。しかし見つかるはずもない。 車まで戻り普段かけている眼鏡と交換。
流れの緩やかな所から開始。 偏光でないため川底の様子が確認し難いのはこんなに違うのかと再認識されられた。
此処も数尾掛かると後が続かず。 昨日の大社とペースは変わらない。右岸左岸を移動しながらやって40尾強。4時頃に雷が鳴り出し近くの山が霞んできたのでやばいと感じ納竿。
掛かるアユは黄色いが周辺で掛かりが続かないのはなぜだろう？ またヘチでも掛からない。9月頃なのか？
もうそろそろスイッチが入っても良さそうなのだが...

No.026
釣行月日：2025年08月23日(土) 07:40～17:00
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：20℃
河川：*****
水況：若干減水
釣果：67尾，　サイズ：16cm～19cm
仕掛（竿）：銀影競技メガトルク早瀬抜90W
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
北陸遠征は盆休みの予定だったのに，大雨で予定を変更し今回の釣行となる。
情報が乏しい中での釣行，オトリ店に到着ししばし談話。
とりあえずいつものポイントへ行く。車が1台止まっているが周辺には釣り人が見えない。何処へ行ったのだろう？
そこから約100m上流へ行き釣り開始。 いつもなら掛かる所で掛からず上流へ移動しながらやるも掛かる気配が無い。そうこうしているうちに釣り人が入ってくる。はるか上流のほうへ向かっているようだ。
ちょっと気長に待っていたらようやく当たりが… やっとオトリが替わる。
ポツリポツリであるが何とか掛かって一安心。 釣り人もそんなに多くないけどいつもより入ってくる人が多いように感じる。あまり掛からないので1台止まっていた場所へ行く。車は既に無かった。 折口で数尾掛けて橋の上流へ。
浅場が気のなるのでヘチまで含めて広範囲に探って掛ける。 上流へ移動しながらやって一時良く掛かる時も。
昼になったので戻ってコーヒータイム。 そうしてたら地元の人か知らないが網を打ち始めた。
荒れたためかアユが掛からなくなりしばし苦戦。 作戦を網をやっていない下流側でやってみるも石の色の悪い所が多く掛からない。網の人が居なくなって暫く時間をおいてやってみた。 あまり掛からにが10尾程追加できた程度。
それでも60尾超えた釣果で良しとしよう。 動画：https://youtu.be/4MkOB8F6OjI

No.027
釣行月日：2025年08月24日(日) 07:20～17:00
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：21℃
河川：神通川（富山県）
水況：若干減水
釣果：87尾，　サイズ：12cm～18cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
朝，ホテルから出ようとするときオトリ缶の中を確認したらオトリ全滅。
何でやと確認すると主電源は入っているがAC電源が入っていなかった。
昨日，ホテルに着いたときはポンプは作動していたはずだけど… でも現実死んでるからしょうがない。
オトリ店で養殖を調達して入川する。 ここでまた悪夢が... 仕掛をセットしてオトリに鼻カン通してオトリを放つ。
しかし，竿に伝わる感じが無い。あれ？天井糸が外れたか？と確認すると目印は確認できる。糸を確認すると鼻カン糸に無精付けしたはずが外れている... とほほ過ぎる。 オトリ1尾で勝負ということになる。オトリ缶まで戻る。
これで失敗したらオトリ店まで行くか釣り人に分けてもらうしかない。
ちょっと最初からプレッシャーを感じながらの釣りとなってしまった。 それに1尾めがなかなか掛からず。無理してオトリが弱せてはいけないと慎重に泳がせる。結構時間がかかったけど16cm程の野アユに替えられた。
掛かりが顎辺りだったけど何とか泳いでくれたので次のオトリへと替えられた。
何故か釣り場の広い所にわざわざ川の上流から下って来て自分の前に入るか？なんて野郎だ！
余程言ってやろうと思ったがここは我慢。 今日は色々とトラブル続きで気分が悪い。だからと言って釣りが荒くならない様集中して自分の普段の釣りを心がける。 まぁ10尾程掛かったので右岸に渡ってトロのヘチ寄りを攻めで昼までに36尾と前回よりもペースが良くない。上流には2人入っているので動けない。昼休憩で居なくなったので上流へ釣り上がってみるもペースは良くないが飽きない程度に掛かる。型も前回よりも小ぶりになっている。 昼休憩が終わった釣り人がまた自分の上に入り立ちこんでやろうとしている。午前中に入ってきた釣り人だった。また自分の近くにくるか？
立ちこんでやるくらいなら対岸からやれと言いたかった。 まぁそういう釣りスタイルだからしょうがないか...
夕方まで上流にいた釣り人らが居なくなった場所まで足元周辺を釣り上がって午後は51尾掛かった。
午前中のポイント選びがまだ甘かった。

No.028
釣行月日：2025年08月30日(土) 07:30～17:10
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：21℃
河川：*****
水況：若干減水
釣果：65尾，　サイズ：15cm～20cm
仕掛（竿）：銀影競技メガトルク早瀬抜90W
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
北陸遠征1日目 前回と同じ小規模河川。 ちょっと下流にはなるが行ってみる。
丁度偏光サングラスを新調したので試しも兼ねてである。 今まではもう20年も前のサイトマスターだったので，以前レンズが外れたのをきっかけに偏光サングラスを思い切って追加しようと。 タレックスの偏光レンズでトゥルービュースポーツでアユ釣りには最適？ともいわれる。
遠近両用なので最初は慣れるまでちょっと違和感があるがそのうち慣れるだろう。 仕掛を準備して早速釣り開始。
最初は蹴られ逆針が外れる。その後掛からず。
ちょっと下に石の色が良かったのでやってみるもバレてそれ以降掛かる気配なし。
下流へ釣り下るも掛からず。往復して9時過ぎ。暑さでやっとこさオトリ缶まで戻って来れた。
橋から上流は数名の釣り人が居るのでここは諦め前回の場所へ行く。 橋の下の小場所狙いで野アユを確保したところ。
開始して数分後オトリを交換することが出来た。周辺である程度確保できたので，橋の上流へ移動。
浅場やヘチで掛かりようやく循環し始めた。 大体思う所で掛かり朝いちの不調から脱出できて一安心。
上流の瀬肩で結構良い思いが出来満足。 夕方キリの良い所まで頑張って納竿。

No.029
釣行月日：2025年08月31日(日) 06:40～17:30
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：21℃
河川：神通川（富山県）
水況：ほぼ平水
釣果：155尾，　サイズ：15cm～20cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
北陸遠征2日目 神通川でいつものポイントとは違った所でやってみようと少し下流へ行ってみる。
思っていた場所へ行くと合流点から下は深そうで河原との傾斜がきつすぎてポイント的に厳しそう。
上流の早瀬に入ることにした。木が根っこから流されて途中で川の中にポツンと横たわっている。
その下が緩やかな流れになっているのでまずはその周辺でやってみる。
毎日のように釣り人が入ってそうなのだが意外や掛かる。
最初10尾程は順調に掛かる。対岸は浅場になっていて石の色が良さそうに見える。
逆光でかなりやりにくかったので対岸に渡ってみる。後ろは絶壁で日陰になり暑さをしのげ快適。
偏光サングラスの効果もありポイントの探索には重宝して午前中は良く掛かり72尾。
一旦，竿をたたみ車まで戻りコーヒータイム。　午後は昼から順光になるので最初やってた場所から再開。
泳がせる筋を超オバセを効かせた泳がせ，ベタで引き釣りやいろいろなバリエーションをミックスして探てみた。
結局50m満たない範囲内で絶え間なく掛かり続けキリの良い数までやった。
午後からは83尾，合計155尾と自己最高釣果を記録できた。なかなかこんな日はない。
動画：https://youtu.be/tQnITtgAzmI

No.030
釣行月日：2025年09月01日(月) 06:40～17:20
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：21℃
河川：神通川（富山県）
水況：ほぼ平水
釣果：145尾，　サイズ：14cm～20cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
北陸遠征3日目（最終日）　昨日やったポイントで上流に釣り人がいて行けなかったので，そこの周辺をやってみようと思ったけどもう既に人が居た。　よく見ると竿の持ち方や動きからコロガシの様。しかも竿スタンドまで見える。さらにリュックを背負ってその場所へ向かっているひとも居る。知り合いだろうか？
これは一日いそうだと感じ諦めで上流へ向かう。　婦中大橋の下を見るとまだ釣り人は居らず。瀬肩を渡れば右岸の流れまで釣り歩きができそうと考え，ここでやってみることにした。
左岸側からだと逆光でやり難いこともあるため，まずは中州まで渡り中州側から左岸側方向をやることにした。
岸寄りを攻めるも遊び鮎が見えないし掛かる感じがしない。　少し立ちこんでオトリを下の方にやって自分も下がって目印を確認すると無い？どこやと竿を立てると目印がはるか上流にある。
あれ？と思って確認すると掛かっているではないか。　それにしても今日は風の強い日だ。
周辺で掛かるもあまり数はでそうもない。時間帯もあるかもしれない。釣り荒れかもしれない。　中州の反対側の流れは浅場なので午後からか？右岸側の水量のある流れの瀬落ちに行ってみるとなんと砂底？神通では珍しい。　仕方なしに先程の浅場のケツよりちょっと上の石の点在が切れるフラット周辺からやってみる。逆光気味ではあるが仕方ない。
意外や掛かる。これは良いかもしれないと…　その後掛かり続けサイズも良い。
午前中52尾。ここで車までもどりコーヒータイム。　仕掛を再生し再開。
少しずつ上流のトロへと移動しながらやっていく。　順調に絶え間なく掛かり続け午後は93尾。
合計145尾と2日で300尾とは自分には上出来（まだまだ見直す改善点はあるが…）。
還暦で3日間で365尾と最高の遠征になった。　動画：https://youtu.be/dxmu8Pz3wws

No.031
釣行月日：2025年09月06日(土) 07:30～17:30
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：ほぼ平水
釣果：54尾，　サイズ：15cm～22cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
もう終盤となった安曇川。　増水後の釣行で気になっていたが苔は飛んで無いようだった。
野尻に入るも2回バレてオトリが瀕死状態になってしまった。　1尾しかないのでオトリ店まで引き返す。
今度は近場の古川へ。　もう失敗はできないと慎重に泳がせる。　今度は獲り込めたがデカすぎる。
しかしオトリにしないと続かない。　掛かるアユは殆どと言っていいほど大きい。20cm超え。
こんな年は今までなかった様な？ 掛かったら良く引くし獲り込みは慎重にならざるを得ない。

No.032
釣行月日：2025年09月07日(日) 07:30～17:20
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：安曇川・朽木（滋賀県）
水況：若干減水
釣果：38尾，　サイズ：17cm～22cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.2
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今度こそ，と思い昨日のリベンジを果たすべく野尻へ。 しかし，掛かるに時間を要した。30分くらいかかる。
ここも古川のアユと変わらずデカイ。 今日はナイロン0.2号なので少しは安心できる。
午前中は瀬でも追ってきたが半分しか獲り込めず。数が伸びない。
気になる浅トロでは追うアユが居ないのか泳がせても掛からない。 しかし，群れアユがキラキラする所にオトリを誘導すると絶対といっていいほど掛かった。しばらくすると何処かでキラキラしだす。そこにオトリを誘導しては掛かるといった感じ。 掛かると引きは強く型も大きく竿はかなり曲がる。
道糸が切れることはなかったが，ハリス切れと鼻カン回りの中ハリスが切れることがあり数が意外と伸びなかった。
あまり追うアユが居なくで苦労した。

No.033
釣行月日：2025年09月13日(土) 08:30～16:30
天気：雨後曇，　気温：？，　水温：25℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：若干高水
釣果：76尾，　サイズ：11cm～21cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175，ナイロン0.2
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
曇の予報が雨。 雨雲レーダーを確認し，オトリ屋で雨が止むまで待つことにした。 オトリを購入後前川橋まで行く。
上流まで行き支流の出合から下流でやってみる。しかし，オトリ屋で元気だったオトリが1尾瀕死の状態。
残りの1尾でやるしかない。 掛かるも小さすぎてオトリにならない。
再度養殖で頑張ってもらって何とかオトリサイズが掛かった。
やはり天然に替わると後はオトリ任せで野アユが掛かってくれるので心強い。 それにしても雨が止みそうと思ってカッパを脱いでるとまた雨が強くなってを繰り返し…予報とちゃうやんと思いながら続けてると，止むどころかきつくなってきた。 これはどうにもならないと思い一旦竿を畳み車まで戻って雨雲レーダを確認する。
今まで無かった雨雲の塊が通過中だった。あと10分後に止むことが判ったので再開することにした。
支流の濁りがきついが対岸の数メートルの幅のみ。 しかし全体に薄く濁り水嵩も増してきた。
目印になる石を見ながら水位を確認しながら続ける。 入れ掛りではないものの掛かり続けた。
夕方支流の濁りも無くなってきたけど水位がまた上がって来てゴミも流れてきたこともあり納竿。

No.034
釣行月日：2025年09月14日(日) 09:10～14:50
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：
河川：有田川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：60尾，　サイズ：10cm～21cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
倶楽部のオフ会。 今回は不参加の予定だったが熊野川の大会が延期になったためオフ会に参加できることになった。
昨日のポイントはもう掛からないと思いボダイに入ってみようと行くと，先行者が3人程いた。川口周辺は漁協主催の大会が翌日のため下見もする人がいて混雑が予想され今回はパス。やむを得ず大岩の上に入る。 手前の箇所を入念に攻めて10尾強掛かった。下でやってた人がさらに上流へ移動したので，大岩の下に入る。そこで10尾程掛かるも後が続かず。 上流が空いていそうなので川を渡り右岸側を歩いて移動。 浅場にアユが結構見たので泳がせると掛かる。
それから良く掛かり周辺を探って時間一杯までやる。 結果トップで2度目の優勝。 還暦で良い思いが出来た。

No.035
釣行月日：2025年09月15日(月) 07:30～17:10
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：25℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：80尾，　サイズ：11cm～20cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
新金屋橋周辺に行ってみたくて入ってみる。
橋の上流をみると午後からのほうが良さそうと思い少し流れのある下流側から始める。
数尾黄色になった付きアユが見えたのでその周辺で竿を出してみる。 一発目は黄色いが小さい。
仕方なしにこのアユをオトリにして送り出すとオトリよりも数ミリ大きなアユが掛かる。
次はさらにサイズアップし小さいがオトリにはなるサイズ。
4尾めにして16cm程の野アユが掛かりこれから期待してみた。 たまにマシなサイズが掛かるも全体的に小さすぎる。
橋の上流へ移動して左岸側の小石底でやっても小さいアユばかり。
キラキラ光るアユはそんな小さうようには見えないのに... この場所は諦めボダイへ移動してみる。
先行者が2人いて昨日入った上流ポイントにも釣り人がいたので大岩にの下の2人の間に入ることにした。
小石底で大石が点在するポイントなので厳しそうに感じた。 何とか大石周辺で掛かるけど後が続かない。
右岸の石が良い色をしていたので泳がせてみると掛かる。 周辺で良く掛かるので右岸側を中心に攻めてみた。
昼頃には周辺にした釣り人が次の場所に移動されたのか居なくなった。
カワガセまで釣り下り掛かりそうなポイントを攻めてみた。 石の色の良い所では必ずといってよいくらい掛かった。
キリの良い80尾になるまで頑張ってみた。

No.036
釣行月日：2025年09月17日(水) 07:00～17:30
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：21℃
河川：神通川（富山県）
水況：ほぼ平水
釣果：164尾，　サイズ：13cm～20cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.2
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，楔：6.5号本錨，キメラ：6.5号4本錨
内容：
天気予報を眺めると18日は纏まった雨だしその後も雨の予報があり水位が安定するに数などを考えると17日しかないとなり，日帰りはちょっとキツイが来月から禁漁なので追い切って行ってみることにした。同じような思いで来られているひともありそう。
オトリ店ではお客さんが来る途中新婦橋？では釣り人一杯と言っていた。何やらパスツアーらしいとのこと。
前回のポイントではやり切れていないので入るポイントは決まっている。
ポイントに到着し朝食をして釣り準備をし川を渡り釣り開始。 今回はできるだけトラブルを軽減するため水中糸を0.175号から2.0号にし，中ハリスもエステルからフロロカーボンに変更している。
養殖オトリが黒っぽくなっている。もう終盤やなぁ。
最初はバレからスタート，天然に替わるまではちょっと時間がかかった。
前回程よりも掛かるペースがあまり良くないものの午前中71尾。
今回はトロよりもチャラ瀬のほうが良さそうなのでチャラ瀬中心に攻めてみた。
午後からのほうが水温が上がった影響か良く掛かり93追加できた。
神通川は今期最終かもしれないため遅くまで釣りを堪能した。
トラブルも軽減出来たこともあるのか釣果も自己最高を更新できた。 動画：https://youtu.be/eQ8uyBQEUSQ

No.037
釣行月日：2025年09月20日(土) 07:30～17:00
天気：曇，　気温：？，　水温：24℃
河川：熊野川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：45尾，　サイズ：10cm～18cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
天候と別の用事とで行けなくてようやく熊野川へ。 まず最初は請川から。
少し川相が変わった感じがするが釣り開始。 手前のポイントでやってると掛かっているような感じがして寄せてみると何も変わった様子は無かった。再度オトリを泳がせると掛かる。
数尾掛かったのでこれは行けるのではと思ったものの広範囲に泳がせてもあまり掛からない。 上下歩き回るも状況は同じ。大塔川・四村川へ歩こうと思ったけどこのような調子ではあまり期待できそうもないので，敷屋へ。
釣り人が数人入っているもののがら空き状態。
いつもの場所から泳がせるも掛かる気配が無い。上流へと釣り歩いてもなかなか掛からない。
あるポイントで3尾程掛ったきりで後が続かない。 さらに上流へと歩く。 トロで掛かったものの連続で掛かることなく場所を転々と変えながら釣った感じ。どうも掛かるポイントが見えてこない。 請川22尾。敷屋23尾とちょっと厳しい。

No.038
釣行月日：2025年09月22日(月) 06:40～17:20
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：90尾，　サイズ：10cm～21cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
何処に入るか迷ったけどブドウ園の吊り橋の上が時期的に良さそうと思い入る。手間で掛かる。
それではと手前周辺を攻めるもあまり掛からない。川の中心まで探ってもあまり掛からない。時間帯にもよるのか？
少しずつ上に移動すると掛かる。その周辺は確かに石の色が明るく良いようにみえる。
オトリが元気に泳げば直ぐに掛かり順調だった。途中糸切れでペースが狂ってしまった。
20尾程になった頃に下流へ移動。　トロ場はどうかとやってみたがアユもあまり見えないのでさらに下の浅瀬に移動。
足元をウロウロするアユが居たので手前から泳がせると周りにいたアユが反応して掛かる。同様に泳がせればテンポ良く掛かった。場所移動を考えていたけど30尾を超えたので移動途中にアユが弱ったり死んだりするので1日やってみることに予定変更。　昼頃にトロで泳がせると掛かるようになってきた。
岸寄りにもアユが見えてたのでオトリを横引きで岸まで誘導して沖に戻させる操作が有効で良く掛かった。
夕方までやって90尾と良く掛かった。

No.039
釣行月日：2025年09月23日(火) 07:10～17:25
天気：曇，　気温：？，　水温：24℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：ほぼ平水
釣果：100尾，　サイズ：10cm～21cm
仕掛（竿）：巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
気温も下がって来て水温も落ち着いてきたこともあり下流域でやってみることにした。
意外と釣り人が多く入ってきた感じ。　一発目はよそ見してる間に掛かり直ぐに野アユに替わった。
その後は小さいオトリにはならないのが掛かり早朝は掛かるペースは良くなかった。
少しずつ上に移動しながら手前や対岸側を攻めても掛かるペースが良くなかった。
そうこうしているうちに釣り人が増えてくる。　さらに上流の瀬肩を攻めても掛からない。
さらに上のトロで泳がせると目印が飛ぶ当たりがあり，そこから入れ掛りが始まった。型も18cm以上が殆ど。
こんなポイントがあるとは…　午前中60尾強と凄いペースに。　この頃に下から釣り人が上がって来て声をかけられる。
倶楽部の人であった。吉備中央大橋でやってたけどさっぱりだったので場所移動してきたとのこと。
曳舟が満杯状態であったこともありオトリを数尾進呈。
自分は休憩したかったのでコーヒータイムで車まで戻ったタイミングでもう一つの曳舟を持って釣り場に戻った。
午後からも周辺をやって夕方100尾行けそうだったので頑張ってみた。
倶楽部の方も同じポイントで40尾掛かったとのこと。　意外と掛かったのは普段釣り人が立っている場所だった。何でこんな所でしかも良型が掛かるのか改めて先入観で釣りをしてはあまり良くないと思い知らされた。

No.040
釣行月日：2025年09月27日(土) 07:00～17:30
天気：晴後曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：熊野川・赤木川（和歌山県）
水況：若干減水
釣果：70尾，　サイズ：12cm～21cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
熊野川の大会が明日ありちょっとだけ下見。 本宮のエッソ辺りから簗までを釣り歩いて9時過ぎまでやって16尾。
数尾掛けたら移動すてみた。全体的に掛かったがトロのほうが良いように感じた。 あとは赤木川へ。
小和瀬と小口で竿抜けの所は良く掛かった。 午前中までに小和瀬で17尾。 昼から3時頃まで20尾。
その後小口で17尾。 赤木川で54尾だった。

No.041
釣行月日：2025年09月28日(日) 07:30～17:00
天気：晴後曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：熊野川・赤木川（和歌山県）
水況：若干減水
釣果：32尾，　サイズ：13cm～22cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
熊野川の大会に初めて参加してみる。 Aブロックで請川となった。谷口オトリ店の常連も居られた。 いつものポイントへ行くもオトリ変わらず。前回と比べて川底が変わった様に感じた。30分オトリ変わらず，下に移動し橋の上のトロの右岸の岸寄りでアユと目が会った。とりあえずそこをめがけて泳がせてみる。
野アユが見えないと思ってたらキラリと野アユとオトリが回転して走る。
やっとオトリが替わった。それから5尾程掛かる。しかし当たりが止まってしまう。 橋の下に移動してみると本流筋は釣り人が集中している。合流点の上流の右岸側から手前を泳がせたtら即，ギュイ～ンと釣り糸が吸い込れた。黄色いアユであった。周辺を攻めると意外と掛かり岸から1m以上は小石で無理かとオトリ任せで暫く待ってたら掛かり周辺でも掛かった。 不思議な出来事にビックリ。 時間切れでオトリ込み16尾で予選落ち。
まだまだ課題があると今後の釣りで意識していこう。
決勝を見学して抽選会後に谷繰りオトリ店でオトリを頂き小口へ。 もう2時半を回っていた。
それなりに掛かり昨日掛からなかった深トロで当たりと引きを楽しめた。

No.042
釣行月日：2025年09月30日(火) 07:40～17:30
天気：晴時々曇，　気温：？，　水温：24℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：若干減水
釣果：89尾，　サイズ：10cm～19cm
仕掛（竿）：巧匠アルトマイスター?早瀬抜95
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，韋駄天:7号4本錨，キメラ：6.5号4本錨
内容：
北陸河川で10月から禁漁になるとこがあり予定も考えたが気温も低くなってきている。有田川では晴れで気温もあるので有田川へ行くことにした。 入る場所にいつも悩むところだがあまり入っていない駅裏にしてみた。
昔入った場所では両岸には葦は無かった様な？… ちょっと水深のある場所で手前を泳がせてみる。
オトリが弱そうで水深のあるところでは厳しいそうな泳ぎ。 無理をしないようにゆっくりと引きながら上流へ移動。
30分くらいしても掛かる気配が無い。 さらに引いて瀬肩に近づいてきた所で当たりが。
16cm位のアユが掛かり無事に獲り込めた。 そこから少しずつ掛かるペースが上がってくる。
手前の所でも掛かる。オトリを放した約50cm泳いでた所でも掛かる。 昼をちょっと回った頃には60尾となった。
コーヒータイムで車まで戻り大阪から来られている方が帰る支度をしていてちょっと話を…
先程の場所にもう一つの曳舟を持って行く。今回2回目。
このペースでは100尾は期待できると思ったが掛かるペースが一気に低下してしまった。
かなり広範囲に色んな手を尽くしても駄目だった。 二股に分かれている右岸側の肩では不思議と掛からない？
午後からは29尾だった。

No.043
釣行月日：2025年10月11日(土) 07:20～17:00
天気：雨後曇晴後曇，　気温：？，　水温：23℃
河川：熊野川（和歌山県）
水況：若干減水
釣果：44尾，　サイズ：13cm～24cm
仕掛（竿）：VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK，銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
関東から藤吉さんが来られるとのことで，釣り場の広い本流で予定していた。
しかし，前回程掛からず掛かっても小さくオトリの循環が良くない。
また，何故か釣り人が多く今まで無かった様な状況。
10尾程なった所で場所移動。請川では釣り人は居ないが，本流側は多い。 ショートメールで良き再変更を告げて入川。
浅場では掛からず，上流へ移動しながら釣ってみる。大石周辺のトロで良型が追ってきた。ひと通りやって元の場所に戻ろうとしてた頃に藤吉さん登場。藤吉さんが谷口オトリ店に寄ったけど釣り人が多いので「オトリは安ちゃんから貰って」と…。丁度良型が確保できたオトリを進呈。 台風の影響を心配していたが午後から一時的に青空が出て陽が射してくれた。追いも良くなったせいか，暫く同じトロでやって当たりを堪能。 夕方浅場で入れ掛りもあり数を稼げた。
宿泊先は同じだったので，夕食は「宮ずし」でアユの塩焼きも食べて楽しい一日を過ごせた。

No.044
釣行月日：2025年10月12日(日) 08:20～17:00
天気：曇時々雨，　気温：？，　水温：23℃
河川：熊野川・赤木川（和歌山県）
水況：若干減水
釣果：38尾，　サイズ：12cm～20cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
昨日，夕方良かった事もあり午前中も同じ請川へ。 時間帯と水温の関係かあまり掛からず。 ヘチ周辺で掛かるだけ。
本流へ移動してみると出会いから下流は釣り人が居るので，熊野の大会の時と同じポイントでやってみる。
右岸側のヘチ寄りでやるとポンポンと入れ掛かる。昼頃までやって元の場所に戻る。藤吉さん12尾。自分16尾。 赤木川の小和瀬に移動して河原で大村屋で用意していただいた弁当を食べて橋の上から川見をしてから開始しようと思った頃に急に雨が降り出す。 カッパ着てやるも3尾しか掛からず群れアユばかりの様だったので，小口へ移動。橋の上流に入りポツリポツリと掛かる。 夕方トロでちょっとオトリの回転が良くなった。
5時には止めないと着替えと後片付けしてたら暗くなってしまう。
谷口オトリ店に寄って談義後，宮ずしで夕食をして藤吉さんご夫妻とお別れ。 明日は有田川なので，殿さん宿に移動。

No.045
釣行月日：2025年10月13日(月) 07:20～17:00
天気：曇時々雨時々晴，　気温：？，　水温：23℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：若干減水
釣果：73尾，　サイズ：13cm～21cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
今年絶好調の有田川へ。 三桁ポイントへ再度入川。 ほぼ同じ時刻に3人ほど来られた。今日も釣り人が多いのか？
朝一なので瀬落ちから開始。 オトリがポイントへ向かい落ち着いた頃に即掛かる。 それも良型。
いきなり開始から5尾程掛かる。それから周辺で飽きない程度に掛かる。
しかし時間が経つにつ入れてサイズが小さくなっていく。 オトリにならないほどは小さくなく無いので問題は無い。
昼頃までに35尾前後？
午後からは左岸側へ渡り真ん中から手前に石が入っており石が磨けている。手前を中心に攻めてみると良く掛かる。 ひと通り掛かるとあとが続かない。時折強風が吹き帽子が飛ばされるほど。風を利用して引きずりに近い状態にすると掛かるという面白い現象があった。もし風が無い場合はどうコントロールしたら良いのか？これが出来たら釣り方の引き出しが増えるのでは…と考えたりして…
泳がせがワンパターンにならないように色々とあーだこーだと試してみてやっと掛かるといった感じ。
結局数人の釣り人が居て，入れ掛りポイントには入れず。
ただ，オトリの泳がせる位置が全く違っていたのでまたの機会に？ 状況が変わっているかもしれないが…
今回の釣果でトータル2957尾なのであと43尾で3000尾になるのでもう少し釣行を続けることにした。納竿はお預け。

No.046
釣行月日：2025年10月17日(金) 07:30～17:00
天気：曇時々晴，　気温：？，　水温：23℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：減水
釣果：71尾，　サイズ：13cm～20cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，キメラ：6.5号4本錨，，韋駄天:7号4本錨
内容：
今年3000尾まで43尾なので達成できそうで，もう少し釣行することにしてみる。国魚の方に最後の釣りになりそうと伝えてブドウ園周辺に入る。 いつものプールから開始。 オトリが対岸のヘチ沿いを泳いで上流へ走る。途中で掛かった様な動きでちょっとテンションをかけ様子を確認すると掛かっていた。 その後時速10尾ペースで掛かる。
午前中に目標の3000尾を達成！ 午後からは掛かるペースが悪く歩き回って70尾超え。 何とか楽しませてもらった。

No.047
釣行月日：2025年10月18日(土) 07:30～17:00
天気：曇時々雨時々晴，　気温：？，　水温：22℃
河川：有田川（和歌山県）
水況：減水
釣果：47尾，　サイズ：10cm～20cm
仕掛（竿）：銀影競技スペシャル TYPE S 90
仕掛（糸）：ナイロン0.175
仕掛（針）：V5：6.5号3本錨，一角ライト：5.5号4本錨，一角：6号4本錨，楔：6.5号本錨
内容：
今日が納竿日となりそう。 天気予報は外れで曇り空で雨も降ってきた。
ボダイで竿を出すも手前でアユが居るも泳がせても反応が無い。 オトリが替わったのは30分後であった。
次も中々掛からず，川を渡り右岸側を歩いて上流へ行ってみる。
9月では良く掛かったポイントであるがそれが掛からない。 時間帯もあるのか？付きアユを確認しても見えない。さらに上流へ行き石の色の良さそうな所を泳がせてたら掛かる。しかし後が続かない。
段々と時間が経過しポイントを替えながらアユの動きを確認して回る。
すると付きアユが確認できるようになりそれを掛けていく。
ちょっと時間はかかるが確実に確保でき少しずつ数が増えてきた。 昼くらいまでで20尾。
午後からは下り下流に移動し左岸側からやってみる。 同様に見釣りをしながらのんびりと釣りを楽しんだ。 一発で掛かるものや何度もトライしてやっと針掛りするのもあって良い勉強になった。掛かったときに一気に走る瞬間がなっとも言えない。 腰まで浸かっても寒さを感じななかったので良かった。
まだ釣りは出来そうだが今日で納竿とすることにした。

2025年版 〔 釣行回数：47回　平均釣果：65.4尾　総釣果：3,075尾　1日最高釣果：164尾　最長寸：24cm 〕